



2015年4月のロータリーレートは1ドル=118円

2015年 地区大会は10/24～10/25

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



例会優り

第781回

ホテル日航 5F

4/2 (木) 19:00~20:00

出席率 26/37 70.27%

2月の平均出席率は70.74%

宋戸紀文 SAA

点 鐘

1. 国歌 『君が代』
ロータリーソング『ROTARY』
2. 四つのテスト
3. 宮永満祐美会長挨拶 「皆さん こんにちは 一般的には新年度 新学期の始まりです 私どもは 本日は3本の新人研修を受注し講師が研修にいきました 一人の講師と電話で話をすると 「今年の新人は少しゆるいね」という話になりました 少し景気が良くなっている影



響かもしれません しかし新人が委縮しているのを見るのも辛いのでそれもいいのかもしれません さて、二つ報告です いつも大変お世話になっている石丸先生のお嬢様のお見舞いですが クラブからさせていただきました もう一つは 楊さんからメールがきて 東京の米山奨学会で 無事博士のお祝の時計を受け取ったということです 皆様によるしくとのことでした」

ゲストのご紹介 ビジターのご紹介 なし



今月の誕生者の紹介

- 5日生 高田 重男 会員
 - 27日生 後出 博敏 会員
 - 28日生 木場 紀子 会員
- 宮永会長より事務局へ誕生プレゼントを



《 食 事 》

幹事報告・委員会報告



【幹事報告】井口千夏幹事：本日例会終了後、理事・役員会を開催いたします。

・今週末高崎 RC との合同例会に参加される方へのご案内です。4/4(土)18:00～高崎ビューホテルにて合同例会・懇親会、4/5(日)バスツアーに参加等となります。現在の参加者総数は142名で、内訳は高崎RC会員66名・会員の奥様13名・来賓34名・私達百万石RCから奥様・芸妓さんを含めて29名と大きな合同例会となります。

・来週の例会は富山西 RC との合同例会につき、参加される方は 4/9(木)16:20～松川茶屋に集合し遊覧船乗船、その後 18:00～富山電気ビルにて合同例会・懇親会となります。会費は5千円です。富山西RCからは遊覧船に28名、例会・懇親会には41名の方が出席予定と伺っております。



【委員会報告】谷伊津子会員：社会奉仕からのご連絡です。今月末から来月にわたり祭日がたくさんあります。国旗の幹旋を¥1,955で行っておりますし、金属や玉などの部品の幹旋もいたしますので、できれば祭日に国旗掲揚いただくご協力をお願いいたします。

一昨年、平口泰夫という建築関係の方が卓話をなさったのですが、明日から3日間東山の茶房「一笑」で、グループ生け花展を開催されるそうです。チラシが届いてますのでお時間のある方はお出かけになっていただければ喜ばれると思います。

江守道子会員：2610地区より書損じハガキのご報告がありました。地区内46RCから集まりました¥285,675をロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会「ロータリー希望の風奨学金」へ送金



されました。

高田会員：本の宣伝をさせていただきます。このたび「百万石減塩レシピ」という本を作製し販売しました。興味のある方は見ていただきたいと思います。

ニコニコBOX

¥ 22,000- 本年度¥ 418,002- 残高¥ 5,885,417-



新田千鶴子様：今日は卓話者としてお招き頂きましてありがとうございました。ドキドキしております。存じあっている方が多く。(3/26 お預かりしました)

宮永会長：いよいよ一般的には新年度。私共も新入社員研修の真最中です。

井口幹事：今週末の高崎、来週の富山と続きますが楽しみです。魏会長エレクト 本日はよろしくお祈りします。

石丸会員：一、クラブの皆様の暖い心には感激です。娘も一生懸命リハビリです。一、家内の短歌は又ロータリーの友にのりました。

魏会長エレクト：皆さんこんばんは。今日はPETS研修の報告をさせていただきます。宜しくお願いします。

炭谷会員：スプリングハズカム いよいよ春が来ました。

永原会員：先日インドに行って来ました。日本の10倍の大きさで人口も10倍位ですが、いづれ世界一になるそうです。大理石造りのタージ・マハールは見事でした。街は汚くゴミが多く小型車であふれて大渋滞混雑でクラクションの鳴りっぱなし、牛は道路に寝そべり車は平気で逆走、バイクの4人乗り、トラックの15～20人乗りがあたりまえ、ホームレスも多く食事もナンとカレーライスがメインの大らかな国でした。日本に帰って道路・建物のきれいさに感心し、ちょうどグランクラスに乗りアテンダントのサービスも◎でしたが、ビジネスクラスのアテンダントは◎+○でした。



講話の時間

クラブフォーラム



〔PETS報告と次年度方針〕魏会長エレクト：3月15日に国際ホテルで開催された会長エレクト研修セミナーに参加してきました。柳生ガバナーエレクトの元気な熱いメッセージをいただき、長時間の研修でしたがあっという間でした。K.R.ラビンドラン（スリランカ）次期RI会長はテーマとして「Be a gift to the world」を掲げられ、直訳すると「世界のギフトになろう」ギフトは日本語にすると贈り物ですが、日本語訳では「世界のプレゼントになろう」となっています。”プレゼント”と”ギフト”のニュアンスの違いもその時に教えていただきました。”プレゼント”は物ととらえられがちですが”ギフト”は天・神からいただいた才能や能力なども含まれているということです。「世界へのプレゼントになろう」ということは私達自身が天から頂いた能力を奉仕活動を通じて人々に役立てようという意味合いではないかと理解しております。ここで原稿を日本語に訳した一部を読み上げます。

2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはず。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはず。

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみとろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。「世界へのプレゼントになろう」
2015-16年度国際ロータリー会長 K.R.”ラビ”ラビンドラン



スリランカは皆さんご存知のとおり仏教国で、哲理ある深いお言葉をいただきました。また第1番目に会員増強ということをおっしゃられ重要視されております。柳生好春次期ガバナーからは「ロータリーを楽しむ」というメッセージとともに、会員増強がなければロータリーは衰退していく、また長い年月を経て減少が続けば消えていくということをおっしゃられました。地区で会員減少が起因でクラブの合併が進みクラブの数が減っていくということもあります。そこで金沢百万石RCの次年度のテーマ・運営方針は「全員参加の楽しく活気のあるクラブを目指そう」と考えております。奉仕・親睦というロータリーの両輪を駆使し、それを広報することで会員増強に繋がる好循環を強く意識していきたいと思っております。次期RI会長は若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会していただく方向性を示しています。当然、クラブの規約などがあるかと思っておりますが今後緩和していくのではないかと思います。周りのいろんな方に会員や会員候補者になっていただきたいと思っております。今週末高崎RCを訪問しますが、会員60数名のクラブが30数名の増強をやり遂げたという奇跡的な出来事、二人に一人が一名をどうやって増強したのかを、楽しい時間の中で聞けたらうれしいと思っております。ひとりひとりの活動も重要ですが、グループで候補者訪問することも効率的でないかと思っております。また訪問前にその方の事業所等のHPを見るなどして、相手のニーズを知ろう、相手に感心を持とうとすることで成功率がアップするという話をPETS参加の際に教えていただいたので、ぜひ実践できるのではないかと思います。私自身有言実行し2名以上に会員になって頂きます。補足ですが、今年度2件の地区補助金の助成金をいただきましたが、次年度も継続してラオスと子供夢フォーラム2件の申請を後ほどの理事役員会を経て提出する予定です。またクラブ運営・奉仕・組織・広報の4大委員長さんには、次年度の活動計画と予算について、今年度の会長・幹事に教えていただくなどして今月中にご提出いただきたいと思っております。ただ漠然と去年通りなどとすると予算が足りなくなったりもするので、可能でしたら4/16例会終了後、少し残っていただいて各委員長と小委員長とでぜひ打合せや調整をしていただければ幸いです

点 鐘

パストガバナーからの手紙 215 回

古代天皇陵は聖域か文化財か 炭谷 亮一

私は学生時代に日本史で仁徳天皇陵は世界最大級の古墳であると習った。宮内庁が「仁徳天皇陵」と名づけた古墳の築造年代は、その墳丘上に残された円筒埴輪の形式から5世紀半ばから後半と推定されている。ここに仁徳天皇が4世紀前半に没したと解釈できる「記紀（古事記・日本書紀）」の記述と比べ、約半世紀のずれが生じている。この様な学問上の疑義があることから、今日では、学術的には所在地の地名をとって「大仙陵古墳」などの名称で呼ばれるようになった。同じく応神天皇陵は現在は「誉田御廟山古墳」と呼ばれている。天皇を中心とする誰かの陵墓を、実在する古墳にあてはめ、政治的に定める作業を治定（じじょう）という。「仁徳」「応神」など現行の天皇陵や皇族墓は明治年間を中心に、新しいものは1949年までの間に治定されたものだ。治定には二重の危うさがある。第1に「記紀」に書かれた歴代天皇の王統譜が正しいかどうか、第2に「記紀」や10世紀初めの「延喜式」にそれぞれ陵墓が正しく記されているか、という問題がある。天皇陵について言えば、文字による記述が出来るようになった8世紀以後はともかくとして、巨大な古代古墳が築かれたピークの4～5世紀は文字のない時代であり「記紀」が書かれたのは300～400年後でありこれら古代天皇陵の治定は危ういと言わざるをえない。現在日本には16万基の古墳が存在している。天皇陵古墳がふつうの古墳とちがう点は以下の二点である。第1には量的格差、圧倒的に巨大である。第2は質的格差、例えば大山古墳の金色に輝く甲冑やガラス器、あるいはメスリ山古墳の鉄製弓矢などはほかでは決して見る事の出来ない品物を身につけている。この様に天皇陵古墳は見る者は大きさにおののき、少なさを尊ぶ人の心の動きに働きかける、いじらしいほど忠実に作り上げられた文化装置と言える。国家（宮内庁）が天皇陵をきびしく管理し、学術的な調査の進展をはばんでいる表向きの理由は「皇室の先祖の安寧と静謐、静安と尊厳を守る」であり、聖域だとするのは国家の論理である。もう一方の理由は、江戸の終わりから明治をピークとして昭和の前期まで続けられた、天皇制イデオロギーの可視化としての陵墳の治定が、現代日本の国家体制を文化面から支えていると言う政治的、歴史的事情にもとづいている。従って「天皇陵」はいまだに「生きて」社会に機能していると言えるだろう。ある意味天皇陵に関しては戦前の皇国史観が依然として生きつづけていると言える。天皇陵として治定されている古墳の3割程度は不確実である。例えば〇〇天皇陵と言われているが被埋葬者が違っていたり、天皇陵と言われているが実は豪族の古墳であったり、豪族の古墳と言われているが天皇陵であったりと大変不確実な治定である。更には私自身右翼勢力から攻撃されるのは不本意ではあるがあえて言わせていただくと日本国の初代天皇（大王）とされている神武天皇とその後につづく9代までの天皇は現代の歴史学において架空、虚構とされており、歴史的に不都合にもかかわらず正々堂々と間違っただけで治定された墳墓が存在する。以上古代の天皇陵の治定は混沌と言える状態であり、宮内庁は古代陵墓の内、治定が不確実とされているものについては、埋蔵文化財保護法に基づいて文化庁へ届け出て公考古学の専門家による徹底調査研究すべきと主張したい。歴史への興味や学びの意欲を支える思いや感動、そして楽しみは、その歴史が事実であると言うことに根ざしている。架空やつくり事に対して、私達は歴史として思いを馳せたり心を動かしたりすることはない。また、歴史

は過去の事実であるからこそ、それを共有する国や民族や地域などが勇気づけられたり、自省したり、みずからを正しいと主張したり、誤りを認めたりして、よりよい未来をつくっていく、ときの定点となる。この定点があいまいにされたり、ゆがめられたまま放置されたりしたのでは、国や民族、地域がみずからを健全に保つことはできないし、属する人びとの愛着を得ることも困難だ。天皇がまつわる歴史であっても、それは同じことである。天皇家の由来を物語る神話は記紀（古事記・日本書記）である、そして世界中で神話を起源とする天皇家は唯一の君主である。

昭和の一時期、共産主義やヨーロッパの王制が打倒された経験に脅威を深めたため、天皇をめぐる強引に過度の神聖化を進めた経緯があった（そんなことは不要で当時も現在でもほとんどの日本人は皆、自然に敬っている）。

戦後は日本人の極端から極端に走る性尚から「日本書記」は天皇支配を正当化する為のまったくのフィクションとして否定され、「古事記」にいたってはまったくの「偽書」とし無視する傾向も一部あった、その原因は反戦・共産主義志向・反天皇イデオロギーに基づく大きな行き過ぎがあった。

しかし近年「日本書記」の記述が折に触れ再評価されつつある。しかし学説的「真偽」を論じる前に我々日本人は記紀を約1300年にわたり、この国の成り立ちを示す「古典」として日本人の間で愛され伝習続けて来たと言う事実が存在する。約1300年間、「記紀の世界こそが日本の由来」と考え親しんできた。従って3月初旬に秋篠宮家の次女様が初代の神武天皇陵にハタチ（20歳）の青年皇室として参拝されたとの報道にも私は天皇家は神話を起源とする君主ゆえに何んら違和感を覚えなかった。

現在でも続いている神仏習合信仰は、明らかに記紀の神話的世界と仏教が融合して成りたった日本人のユニークな宗教観で、同様に記紀の神話的世界が現在も息づいている証は、各地の神社、祭、年中行事、地名、伝承等に数多く見受けられる。

以上のことを重重承知した上で、次なる提案をしたい、“古代天皇陵はエジプトのピラミッドや中国の秦・漢帝国の皇帝陵の様に間違いなく人類の貴重な文化遺産だと考えている。従って古代天皇陵および天皇陵と考えられるものについては、管轄を宮内庁から文化庁に移管し、埋蔵文化財保護法に基づいて、古代天皇陵とおぼしきものについて徹底的に学術的調査・研究・修復・永久的保存方法を確立し、更には平成の治定を行ない、一般の人々に参拝及び公開すべきと考えている”

最後に天皇陵を毀損するバチ当りな実例を1つ、戦国の世に豊臣秀吉は何んと天皇陵に陣を張った事実があった、たたりがあったかどうかは定かではないが豊臣家は滅亡した。

ホームページのアドレスが変更になりましたのでご案内いたします。

■金沢西RC <http://kanazawa-west.jp>

■金沢みなとRC <http://kanazawaminato-rc.com>



高崎 RC・金沢百万石 RC 合同花見例会 2015.4.4(土)

- 18:00 点 鐘 司会 広瀬雅美幹事 (高崎 RC)
国歌・ロータリーソング(奉仕の理想) 斉唱
- 18:05 会長挨拶
田中久夫身長(高崎 RC)
官永満祐美食長(金沢百万石 RC)
幹事報告(両クラブ幹事)
出席報告(両クラブ出席委員長)
- 18:20 点 鐘
【宴会】 司会 神宮嘉一親睦委員長(高崎 RC)
- 18:25 開 会
金沢・二. 茶屋街芸妓衆による東灘子
- 18:40 挨拶 市川豊行第一特別委員合番兵長(高崎 RC)
来賓挨拶 竹内正幸ガバナー(太田 RC)
富岡賢治高崎市長
原浩一郎高崎商工会議所会頭
来賓紹介
- 18:55 乾 杯 炭谷亮一バストガバナー(金沢百万石 RC)
歓談・アトラクション(金沢にし茶屋街芸妓衆による踊りとお座敷遊び)
- 20:25 への挨拶 官本賢二第三分区ガバナー補佐(高崎シンフォニー RC)
- 20:30 閉会



田中久夫高崎 RC 会長



宮永満祐美金沢百万石 RC 会長



姉妹友好の立役者
市川豊行高崎 RC パスト会長



新井徳治様 ・ 上野正人様



アレックス・ラミレス様
糸井丈之様



下平克宏様（高崎北 RC）



竹内正幸ガバナー（太田 RC）



金沢市長と商工会議所会頭挨拶
代読の村田祐一パスト会長



金沢、二、茶屋街芸妓衆による東灘子



金沢にし茶屋街芸妓衆による踊りとお座敷遊び



乾杯！炭谷亮一パストガバナーと魏賢任エレクト



富岡賢治高崎市長と田中会長会長と宮永会長



訪問の記：

4月4日(土)待ちに待った金沢百万石R.Cと高崎R.Cとの合同例会・懇親会が高崎ビューホテルで富岡高崎市長のご臨席を仰ぎ、その他地区ガバナー、バストガバナー、近隣クラブの代表者等出席され、実に160名の大会会・懇親会となりました。

例会は宮永会長と田中会長との同時点鐘で始まり、両会長は相互にエールを送り、今合同例会・懇親会の意義について、更には今後の友好のあり方、そして深化の方向性を示し、最後に共に手をたずさえて奉仕活動に邁進する強い意志を表明されていました。

田中会長は私達金沢百万石メンバーの各部屋に高崎名物のダルマをプレゼントされ、その横に以下の様な短歌が送られていました。

「金の沢 人の心と 桜(はな)あふれ」 田中作

それに対して宮永会長は万葉人の様に返歌で以下の様に応じていました。

「新幹線 高崎降りて 友と会う やつとこれたと ダルマ見る」 宮永作

教養豊かな行為に私自身おもわず“なかなかやるね”とつぶやいたものでした。

今回の合同例会・懇親会はホストの“おもてなしの心”がひしひしと伝わってくる会でした。その上高崎R.Cの今後のロータリー活動にかける並々ならぬエネルギーと情熱が感じられ英語的表現では高崎R.Cは「イノベーション中」であると言えます。

次回は5月の金沢での合同例会・懇親会での再会を誓って別れました。

P.S.

高崎R.C田中会長のユーモア(サプライズ)に驚かされました。私は何んと前田家の家紋の入ったかみしも(袴)を着て乾杯の音頭をとりました。舞台に昇る時にかみしも(袴)の裾を踏んで、ひっくりかえりそうになり肝を冷やしました。 炭谷亮一

出席者： 稲山訓央 井口千夏 上杉輝子 木場紀子 杵屋喜三以満 金沂秀 朴英子 魏賢任 藤間勘菊 炭谷亮一 炭谷幸子 谷伊津子 後出博敏 後出有美 水野陽子 宮永満祐美 武藤清秀 村田祐一 村田順子 若狭豊 吉田昭生 21名

南瓜のいとこ煮食みつつ年を借し
み
ゆず湯に浸りて春待つ師走

石川・金沢百万石 石丸 恭子

北國新聞
4.6(月)朝刊



高崎で交流活性化誓う

金沢百万石RC
新幹線開業記念 合同の花見例会

北陸新幹線金沢開業を記
念し、金沢百万石ロータリ
ークラブ(RC)と高崎

RCは4日、群馬県高
崎市の高崎ビューホテ
ルで合同花見例会を開
いた。会員らは開業で
近くなった金沢と高崎
の交流活性化を誓っ
た。

富岡賢治高崎市長や

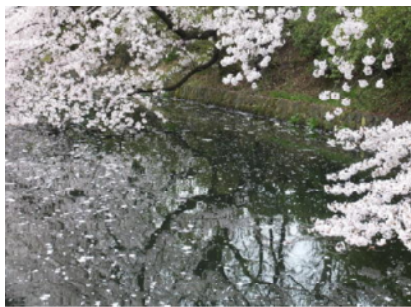
素囃子を披露する芸妓
群馬県高崎市内のホテル

原浩一郎高崎商工会議所会
頭も出席し、高崎RCの田

中久夫会長、金沢百万石R
Cの宮永満祐美会長がそれ
ぞれあいさつした。交流会
では、ひがし、にし、主計町
の芸妓が素囃子や踊りなど
を繰り広げて出席者を楽し
ませた。

金沢、高崎の両市は20
08年に友好交流協定を締
結し、金沢百万石RCと高
崎RCは10年2月に姉妹提
携を結んでいる。

高崎市散策写真



高崎RCとの合同例会翌日の高崎市内の散歩スナップなどです。村田祐一

韓国 RI2610 地区より 地区大会の御案内

永田義邦ガバナ様、

貴下のご健勝と貴地区のご発展をお祈り申し上げます。添付の通り 3710 地区大会を開催いたします。ご多用の中誠に恐縮でございますが、是非ご臨席賜りたく謹んでご案内申し上げます。

3710 地区 総裁 金光泰

*祝辞は 4 月 23 日までお頼みいたします。

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2014-15 年度 R I 3710 地区大会を 2015 年 5 月 8 日～9 日開催いたします。先ず下記の日程をご案内いたします。ご多用の中ご臨席を賜れば幸甚でございます。

日 時：第 1 日 2015 年 5 月 8 日（金）
1 次本会議 14：00 — 18：00 時
18：30 R I 会長代理歓迎晩餐会
第 2 日 2015 年 5 月 9 日（土）
2 次本会議 9：00 — 17：00 時

場 所：第 1 日 新陽パーク Hotel
第 2 日 朝鮮大学校 Haeorum 館

*登録料はありません。HTL と食事は当方で提供いたします。
第 3710 地区 総裁 金光泰

クラブ例会予定 2014-2015 年度

4/9 富山西 RC 合同例会
4/16 村本 睦戸様 ホロデックス代表
4/23 丸谷 彩希様
NPO 法人 ワークライフバランス代表
4/30 休会
5/7 菅野 啓太様 (株)リオンスターズ
5/14 小谷内 陽平様
メイク・ア・ウィッシュオブジャパン北陸支部長
5/21 オープンロータリー
5/28 振替休会
6/4/ 洲崎 邦郎様
6/11 横山 方子様
6/18 クラブフォーラム
6/25 振替休会

2014～15 役員・理事・委員会

(役員) 会長：宮永満祐美 エグゼクティブ：魏賢任 副会長：若狭豊 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之

会計：上杉輝子 SAA：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

(理事) 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智 監査：後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：二木秀樹 副：東海林也令子 親睦：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 ニコニコ：○稲山訓央 若狭豊 友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 江守巧

富山西 RC との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 RC との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 RC との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 直前委員長：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 社会：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 新世代・青少年○北山吉明

国際：○西村邦雄 世界社会奉仕 (R 財団) 西村邦雄 ラオス支援 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 青少年奉仕 国際青少年交換上杉輝子

ロータリーアクト研究会稲山訓央 上杉輝子 直前委員長：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 会員増強：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 修練 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 広報：藤間勘菊 吉田昭生 ロータリー情報：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門 B カウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ロータリーとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 R 米山奨学会委員会副委員長 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ 1 ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00 ～ 15：00 休憩時間 12：00 ～ 13：00 木 15:00 ～ 20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏